

2026 年度事業計画書（案）

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

I 事業実施の方針

創立 22 年目となる 2026 年度は、法人全体として前年度の事業実績を踏まえつつ、これを超える達成度が得られるよう事業継続を計画する。重度障害者コミュニケーション支援事業の体制については、新規常勤職員 1 名の確保を目指し、活動パフォーマンスを担保する人員体制を整える。また、宮城県からの委託事業であるみやぎ障害者 IT サポートセンター事業は、プロポーザル契約から随意契約に戻ったが、宮城県と職員による協議を通じた仕様書変更によって新規に取り組む事業項目や変更事項があるため、混乱することなく業務を遂行してゆく必要がある。さらに、就労継続支援 B 型事業については、昨年度は利用者の出席率向上と交付金単価増額の結果、収益性が極めて向上したが、慢心することなく現状の維持・改善を視野に入れた活動が求められる。この結果として、事業収支の大幅なプラス化を実現したい。その他の事業については、昨年度同様の水準を目標として実施する計画である。

以下、下表の実施事業について順次 2026 年度の事業計画を示す。なお、ナンバリングについて、昨年度までで複雑化したことから、**下表のように再整理**した点に留意されたい。

2026 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業

事業項目	事業名	事業内容
1. IT 支援事業	1.1 IT サポート事業	
	1.1.1 重度障害者コミュニケーション支援事業	仙市委託：重度障害者コミュニケーション支援センター運営
	1.1.2 障害者 IT サポート事業	宮城県委託：みやぎ障害者 IT サポートセンター運営
	1.1.3 伝の心カスタマーセンター事業	パシフィックサプライ(株)委託：伝の心カスタマーセンター運営
	1.2 IT 支援関連事業	
	1.2.1 収入獲得支援事業	収入獲得支援（依頼対応）
2. 福祉支援事業	1.2.2 支援機器導入支援事業	意思伝達装置および周辺機器等販売
	2.1 障害福祉サービス事業	
	2.1.1 障害者就労継続支援事業	障害者就労継続支援 B 型事業所運営
	2.2 福祉支援関連事業	
	2.2.1 自助自立のための支援事業	当面協議中断
3. その他事業	2.2.2 福祉名刺等販売事業	福祉名刺等の販売
	3.1 ホームページ更新委託事業	ホームページ更新作業委託
	3.2 重度障害者 ICT 支援コーディネータ資格認証事業	資格認証申請に対する審査・資格認証
4. その他	4.1 各種助成金への応募	
	4.2 福利厚生への取り組み	

1. IT 支援事業

2026 年度計画として、仙台市からの委託事業である仙台市重度障害者コミュニケーション支援センターの運営と、宮城県からの委託事業であるみやぎ障害者 IT サポートセンターの運営、およびパシフィックサプライ(株)からの委託事業である伝の心カスタマーセンターの運営に継続して取り組んでゆく。

1. 1 IT サポート事業

1. 1. 1 重度障害者コミュニケーション支援事業

(仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター運営)

昨年度、常勤 1 名が退職となったことで、新たな人員を補充し、常勤 4 名、非常勤 2 名の人員体制の整備を目指す。非常勤 2 名体制については、引継ぎのための一時的な措置となるが、2026 年度は**早期に 6 名体制を実現**し、仙台市内の重度障害者に対するコミュニケーション支援事業を継続していく。

また、本事業の管轄である仙台市障害者総合支援センターと、1～2 週に 1 回程度の定例会を開催し、様々なケースレビューを蓄積することを方針として掲げている。これは、支援チームの連携を密にすることで、支援の質をさらに高めることが狙いである。

例年のような目標値に該当する取り決めはないものの、従来の支援を継続することから、今年度も目標を下記の通りとする。

- ① 支援機器等の開発 (目標 : 50 件)
- ② 人材育成 (目標 : 40 件)
- ③ 情報発信 (ホームページの更新)

各目標項目に関する詳細は次の通りである。

① 支援機器等の開発

現場のニーズに合わせたスイッチの加工・製作、ソフトウェアの制作といった、モノづくりに注力する。昨年度の目標が 50 件に対し実績は 56 件であったことから、今年度も同じ **50 件の目標**を目指す。

② 人材育成

ヘルパー、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等を対象に、講習や勉強会の機会を積極的に設けることで地域との連携を強化し、当事者の療養環境を形成する人材のコミュニケーション支援のスキルアップを目指す。昨年度の目標が 30 件に対し実績が 54 件であったことから、今年度は **40 件を目標**とし超過達成を目指す。

③ 情報発信

毎月 1 回程度のホームページの更新頻度を維持し、継続的な情報発信を目指す。一方、昨年度、予算の都合でやむを得ず計画保留となった**ホームページの更新作業の業務委託の計画を進める**。委託先は、就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」とし、次年度の障害者による工賃獲得を目標とする。

以上の 3 つの取り組みに加え、2022 年度から試行開始した関連機関へのコミュニケーション機器の貸出しを継続し、本事業と関連性の高い専門職等との連携強化を図る。

1. 1. 2 障害者 IT サポート事業

(みやぎ障害者 IT サポートセンター運営)

従来からの相談支援・講習事業に加え、宮城県の事業仕様書に従い、当法人で受託するようになってからの新規の試みとして、障害者支援関係団体等の関係者による IT 支援関連「連絡会」を開催する計画である。また、**パソコンボランティアについて、今年度より養成・派遣を一貫して運営**してゆく。具体的には下記内容で事業を展開してゆく。

① 相談支援等

2026 年度も、前年度と同じ職員体制を維持し相談支援業務を運営していく。業務内容として、関係支援機関との協力体制のもと、地域の要望を取り入れながら宮城県全域を対象に、訪問・電話・FAX・メール・来所対応等により、障害のある方のパソコン等の IT 機器の利用支援を実施する。

② IT 講習事業

前年度同様、集合研修である障害者 IT スキルアップ講習にこれまで通り取り組んでいくほか、昨年度からの宮城県による事業内容仕様書の変更にに基づき、今年度計画は下記の通りとする。

[障害者 IT スキルアップ講習]

障害者 IT スキルアップ講習として概ね 1 回 3 時間程度の講習を、主として基礎的内容を中心に、**県内 7 地域で各 1 回以上、全体で 9 回以上**を目標として実施する。

[支援者向け ICT セミナー]

障害者支援に携わる支援者が ICT 支援の具体的な知識を習得し、支援の幅を拡げ、ICT を活用した障害者の生活支援を充実させるため、最新機器や支援事例等を共有するセミナーを開催する。セミナー開催はオンラインを通じて行い、関係者が参加しやすいようにし、また、事後的に学習できるよう録画データをアーカイブ化する。**2 テーマ、2 回の開催**を年度後半に行うこととする。

③ 障害者 IT 支援のための関係団体連絡会

2026 年度事業として、障害者に対する IT 支援をテーマとした障害者支援関係団体の**連絡会を 1 回**、試行的に年度前半に企画・実施する。関係団体のみならず障害者支援施設等の職員が参加しやすいよう、連絡会は**オンラインで実施**する計画である。

また、連絡会終了後の報告書提出が要件化されていることから、年度後半に宮城県に提出する計画とする。

④ パソコンボランティア養成・派遣業務

今年度より、パソコンボランティア育成事業については外部への再委託ではなく、みやぎ障害者 IT サポートセンターが運営業務を行うこととなり、育成および派遣を一環業務として下記の通り行っていく。

[養成業務]

県民を対象にしたパソコンボランティア養成講座を、これまで再委託をお願いしていた組織関係者の協力を得ながら運営・実施に取り組んでいく。前年度同様、**受講者数として 5 名程度**を予定し、秋の開催を予定している。また、パソコンボランティア登録者を対象とした研修を 12 月に実施する予定である。

〔派遣業務〕

パソコンボランティア登録者の活動を支援するための事業である派遣事業を継続する。引き続き、パソボラ派遣を必要としている当事者とのコーディネート、パソボラ登録者のボランティア保険への加入、活動に要する費用などの支給業務等を担っていく。**派遣数については、50 件程度**を目標とする。

1. 1. 3 伝の心カスタマーセンター事業

委託元であるパシフィックサプライ(株)との関係強化を図るとともに、従来から受託している業務として、「伝の心」に関する電話相談への対応、ならびに委託元のレンタル事業のための検品・整備作業を継続してゆく。

1. 2 IT 支援関連事業

1. 2. 1 収入獲得支援事業

収入獲得支援事業については、「キーガード製作」を中心に組み立ててゆき、**年間 10 件の目標**とする。また、印刷関連業務とカットデザイン名刺の受注を促進してゆく。

1. 2. 2 意思伝達装置等機器販売事業

前年度に続き対応地域を仙台市内中心としつつ、「伝の心」や「オペレートナビ」等の機器、ならびに各種スイッチインタフェース等の周辺機器販売を継続する。これまでの販売実績ならびに購入動向に鑑み、2026 年度の**売上げ目標は 600 万円**とする。

2. 福祉支援事業

2. 1 障害福祉サービス事業

2. 1. 1 障害者就労継続支援事業

障害者総合福祉法に基づく就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」（1 日利用定員 20 名）を引き続き運営していく。現在挙げられている課題に対して、以下のように取り組んでいく。

〔就労継続支援 A 型や就労への移行〕

就労継続支援 A 型や就労への移行では、フルタイムで週 3～5 日の勤務が求められる。前年度、利用者への職員による面談を通して出席率の改善がみられるケースが多かったことから、面談時に利用者に寄り添った体調管理や生活習慣への意識改革を促し、**ひとまず安定した参加日数・時間の増加**を目指していく。また、ハローワークや障害者雇用に取り組んでいる企業などから、**どのような仕事・どのような人材が必要とされているのかの情報収集**を行う。

加えて、前年度に引き続き、通院や日常のケア、障害由来の体力的な問題から、従来の

移行で求められる要件を満たすことが難しい利用者に向けて、**個人事業主として収入を得ていくためのプログラム完成**を目指す。プログラムの作成にあたり、法人の個人事業主育成情報を参考に、大手のクラウドソーシングサイトからの業務受注を通じて**個人事業主として必要なノウハウについて情報収集**を図る。

【新規利用者の獲得】

現状では**受け入れ可能利用者数が逼迫している**こともあり、利用者の就職や退所、職員増などの状況の変化がないかぎり**積極的な訪問営業を見合わせる**。7日に1度のX（旧Twitter）のポスト、ウェブページの更新等で情報発信は引き続き行っていく。

B型事業のウェブページ「せんだい庵」に関しては、**利用者の声を掲載したところ、反響があったことから、追加して掲載**していく。また、当事業でウェブアクセシビリティの検査業務を行っていることもあり、**ウェブページ「せんだい庵」を JIS X 8341-3:2016 に準拠したデザインへ変更**する。

【出席率の向上】

利用者が安定した生活習慣を身に付けるため、**体調管理や生活習慣への意識改革・改善**を促す。職員と利用者が面談などを通し、現状の問題点、問題点に対する対策・実行・評価を丁寧に無理なく共有していく。加えて、レクリエーション等を通しての参加率向上の効果が見られないことから、**レクリエーションの効果について検証**していく。また、利用者が取り組む作業数と参加率には相関傾向が見られることから、**提供作業数の増加**を目指す。

【作業の確保】

現在参加しているウェブアクセシビリティ検査作業を請負業務だけではなく、**自主案件の獲得**を目指す。ウェブページ作成業務についても、**従来の作成・更新作業に加えて、ウェブアクセシビリティ検査と合わせたプランも検討・提供**を目指す。

HTML&CSSに依存しないPC作業については、クラウドソーシングサイトで募集されている**難易度に合わせた作業に挑戦**していく。

【平均月額工賃】

2025年度は平均工賃月額を15,000円以上にすることができた。2026度から平均工賃月額区分が変わり、2027年度にサービス費の変動があると見込まれる為、**新規作業の創出、不足気味の軽作業の確保**で十分な作業を提供し、**平均工賃月額18,000円以上**を目指し、さらなる交付金増額を目指す。

これらをふまえた上で、今年度中に**1日平均利用者数8.2人、平均工賃月額18,000円以上**を目指す。

2. 2 福祉支援関連事業

「自助自立のための支援事業」と「福祉支援関連事業」からなる福祉支援事業として次の通り取り組んでゆく。

2. 2. 1 自助自立のための支援事業

当分の間、新規事業に関する検討・協議を留保する。ただし、既存事業の振り返りを行い、**将来に向けた可能性についての協議**は行ってゆく。

2. 2. 2 福祉名刺等販売事業

引き続き福祉名刺・卓上カレンダーの障害者作品の販売を継続するとともに、販路拡大を図り、**120 案件の受注を目指す**。

3. その他事業

3. 1 ホームページ更新委託事業

就労継続支援 B 型事業で工賃を発生させる作業をサポートする立場から、ホームページ制作や更新作業に関する委託業務を前年度に引き続き行ってゆく。さらに、状況を見極めながら新たなホームページ更新作業を受託できるよう取り組んでゆく。

3. 2 重度障害者 ICT 支援コーディネータ資格認証事業

これまでは福祉大生を対象とした 3 級認証が中心であったが、今後は一般市民に向けた資格認証を積極的に進めていけるよう各級の認証要件を確定させ、広報を通じて認証事業の周知を図ってゆく。**3 級 5 名、1・2 級若干名の認証を目標とする**。

4. その他

4. 1 各種助成金への応募

現在法人が保持している機材の老朽化が進んでいることから、福祉事業に対する助成金獲得を通じた環境整備を目指す。

4. 2 福利厚生取り組み

年2回の親睦会、メンタルヘルスチェックおよび職員面談、職域ミーティングを実施し職員相互のコミュニケーションを図るほか、各事業の抱える労務上の課題を把握し、課題解決を図る。新規に必要と考えられる取り組みを検討・実施を図る。

Ⅱ 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出 見込額 (千円)
1. IT支援事業						
1.1 ITサポート事業						
1.1.1 重度障害者コミュニケーション支援事業	仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター運営 ・コミュニケーション支援 ・支援機器等の開発 ・人材育成	4/1-3/31 (通年) 4/1-3/31 (通年) 4/1-3/31 (通年)	仙台市内 重コミュ事務所 仙台市内40件	6人 2人 6人	重度障害者80人程度 重度障害者延べ50人？ 関連職員等延べ300人	26,897
1.1.2 障害者ITサポート事業	みやぎ障害者ITサポートセンター運営 ・相談支援等 ・障害者スキルアップ講習 ・支援者向けICTセミナー ・関係団体連絡会 ・パソボラ養成講座 ・パソボラ派遣	4/1-3/31 (通年) 4/1-3/31 (通年) 9回以上 年度後半2回予定 年度前半実施予定 4/1-3/31 (随時) 4/1-3/31 (随時)	宮城県域 宮城県域 オンラインand/or対面 オンライン 宮城県障害者福祉センター 宮城県域	3人 4人 4人 4人 14人 10人	障害者延べ550人程度 障害者45人以上 施設支援員20人程度 団体職員等20人程度 市民5人程度 障害者延べ50人程度	12,085
1.1.3 伝の心カスタマーセンター事業	伝の心カスタマーセンター運営 ・伝の心ユーザへの相談対応 ・レンタル品検品業務	4/1-3/31 (随時) 4/1-3/31 (随時)	宮城県森林組合会館事務所 同上	3人 3人	障害者等延べ150人程度	3,380

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支 出 見込額 (千円)
1.2 IT支援関連事業						
1.2.1 収入獲得支援事業	収入獲得支援 (キーガード製作)	4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局		障害者10人程度	150
1.2.2 支援機器導入支援事業	意思伝達装置等の 機器販売	4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局及び 障害者宅		障害者30人程度	4,200
2. 福祉支援事業						
2.1 障害福祉サービス事業						
2.1.1 障害者就労継続支援事業	就労継続支援B型 事業所運営 ・生産活動の機会提供 ・就労に必要な知識 や技能の訓練	4/1-3/31 (通年)	就労継続支援B型 事務所	4人	障害者8.2人／ 日、年間延べ 1,943人程度	16,710
2.2 福祉支援関連事業						
2.2.1 自助・自立のための支援事業	当面協議中断					
2.2.2 福祉支援関連事業	福祉名刺／卓上カ レンダー等販売	4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局	2人	市民延べ120人	250
3. その他事業						
3.1 ホームページ更新委託事業	ホームページ更新 作業委託	4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局	3人	障害者支援団体2 ヶ所+α	10
3.2 重度障害者ICT支援コーディネータ資格認証事業	視覚認証申請に対 する審査・資格認 証	4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局	3人	学生5人程度 市民若干人	5
4. その他						
4.1 各種助成金への応募		4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局	2人		
42 福利厚生への取り組み		4/1-3/31 (随時)	S A N 事務局	2人		

2026年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 会費収入			
個人正会員会費収入	150,000		
団体正会員会費収入	200,000		
個人賛助会員会費収入	20,000		
団体賛助会員会費収入	50,000		420,000
2 事業収入			
①IT支援事業収入			
・ITサポート事業収入	43,834,900		
<重度障害者コミュニケーション支援事業>		26,897,000	
<障害者ITサポート事業>		12,857,900	
<伝の心カスタマーセンター事業>		4,080,000	
・IT支援関連事業収入	6,500,000		
<収入獲得支援事業>		500,000	
<支援機器導入支援事業>		6,000,000	
②福祉支援事業収入			
・障害福祉サービス事業収入	17,650,000		
<障害者就労継続支援事業>			
(訓練等給付費収入)		14,250,000	
(就労支援事業費収入)		3,400,000	
・福祉支援関連事業収入	300,000		
<自助・自立のための支援事業>		0	
<福祉名刺等販売収入>		300,000	
③その他事業収入			
・ホームページ更新委託事業 I 型	100,000		
・重度障害者ICT支援コーディネータ資格認証事業収入	20,000		68,404,900
3 助成金・補助金収入			
	0		0
4 寄附金収入			
	0		0
5 雑収入			
預金利子	5,000		5,000
6 その他			
	0		0
当期収入合計(A)			68,829,900
前期繰越収支差額			-3,149,182
収入合計(B)			65,680,718

科目	金額(単位:円)		
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
①IT支援事業支出			
・ITサポート事業支出	7,359,000		
＜重度コミュニケーション支援事業＞		3,559,000	
＜みやぎ障害者ITサポートセンター＞		2,700,000	
＜伝の心カスタマーセンター事業＞		1,100,000	
・IT支援関連事業支出	4,350,000		
＜収入獲得支援＞		150,000	
＜支援機器導入支援＞		4,200,000	
②福祉支援事業支出			
・障害福祉サービス事業支出	2,790,000		
＜障害者就労支援事業＞		2,790,000	
・福祉支援関連事業支出	250,000		
＜自助・自立のための支援事業＞		0	
＜福祉名刺等販売事業＞		250,000	
③その他事業支出			
・ホームページ更新委託事業支出	10,000		
・資格認証事業支出	5,000		14,764,000
2 管理費			
人件費	50,717,000		
・・・人件費:事務局		860,000	
・・・人件費:コミュ支援		23,338,000	
・・・人件費:サポセン		9,385,000	
・・・人件費:カスタマーセンター I 型		2,280,000	
・・・人件費:支援機器導入支援		934,000	
・・・人件費:就労継続支援B型		13,920,000	50,717,000
通信費	260,000		
消耗品費	100,000		
備品費	20,000		
旅費・交通費	300,000		
印刷費	5,000		
理事会運営費	2,000		
総会運営費	2,000		
公租公課	2,000,000		
講習会等参加費	20,000		
交際費(慶弔費)	10,000		
宣伝・広告費	10,000		
支払手数料	10,000		2,739,000
3 雑損失			
	0		0
4 予備費			
	10,000		10,000
5 その他			
短期借入金(七十七銀行八幡町支店・2026年4月返済予定)	5,000,000		5,000,000
当期支出合計(C)			73,230,000
当期収支差額(A)－(C)			-4,400,100
次期繰越収支差額(B)－(C)			-7,549,282

2026年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 訓練等給付費収入	14,250,000		
平均利用者数:8.2名/日			
利用日数:237日/年			
作業時間:4時間/日			
訓練等給付金:7,331円(1日当たり換算)			
			14,250,000
2 就労支援事業費収入			
①IT支援事業収入			
・IT支援関連事業収入 II型	350,000		
<支援機器導入支援>		0	
<その他(印刷関連、データ入力等)>		350,000	
②各種委託事業収入	400,000		
・ホームページ更新委託 II型		400,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 II型		0	
③その他	2,650,000		
			3,400,000
当期収入合計(A)			17,650,000
前期繰越収支差額			-17,824,555
収入合計(B)			△ 174,555
II 支出の部			
1 事業費			
①工賃 一人当たり18,000円/月	1,500,000		
・IT支援関連事業			
・各種委託事業			
・その他			
②就労支援事業費	100,000		
			1,600,000
2 管理費			
従業員給与	13,920,000		
支援員3人分		12,000,000	
支援員3人分 事業所負担保険料		1,920,000	13,920,000
事業所賃貸料(光熱費込)	600,000		
通信費	95,000		
消耗品費	100,000		
交通費	20,000		
PCリース	10,000		
備品費	120,000		
保険料	180,000		
研修会等	20,000		
印刷費	35,000		
交際費	5,000		
支払手数料	5,000		1,190,000
当期支出合計(C)			16,710,000
当期収支差額(A)-(C)			940,000
次期繰越収支差額(B)-(C)			-16,884,555